

令和元年度第3回二宮町図書館協議会議事要旨

開催日時	令和元年2月13日(木) 13:30～15:35	
開催場所	ラディアン ミーティングルーム2	
出席者	委員	出席者7名(うち代理出席1名)、欠席者1名 会長 石井 敬士、副会長 桐岡 眞澄、相澤 るつ子、内山 留美、 三宅 栄子、松本 雅志(代理)、古正 栄司
	その他	傍聴なし
	事務局	5名 教育長 森 英夫、生涯学習課長 小島孝紀、図書館長 三浦牧子、 図書館班長 丹羽朋子 図書館班 稗田倫子

議事概要

1. 開 会
2. あいさつ
3. 議題

- (1) 令和元年度図書館利用状況及び事業報告(4～12月)について
- (2) 令和2年度図書館事業(案)について
- (3) その他

(1) 令和元年度図書館利用状況及び事業報告(4～12月)について(報告)

委員：子育て支援講座の「パパもママも楽しもう！絵本の読み聞かせ」で感じたことですが、最近お父さんが子供を図書館に連れてくることが多い。お父さんは自分が好きな本を選んだり、自分の楽しみを子供と共有したい。お母さんはつい打算が入る、いい本を選びたい。ナンセンス・電車・笑ってしまう本を「パパが選ぶと楽しいよ」展示を常設してもいい。

事務局：面出しされている本は、よく借りられているので、児童コーナーの本の面出しに気を配って、お父さん向けの本を並べるだけでも、目にとまると思う。

会 長：大人がたのしむおはなし会はどんなものですか。

事務局：日本の昔話や世界の民話など、大人向けの「おはなし会」です。

会 長：大人に対しての朗読会も注目されてきているからやってもかもしれません。

委員：図書館だよりのティーンズ版は、おはなし会が中学生に直接手渡しました。すぐ見てくれて反応がわかるので、人を介して本を届けるのは有効だと思いました。

また、小中学生の作成したPOPでの本の紹介について、中学生は忙しくて待っても来ないので、人を介して本を届けるのは有効だと思いました。

委員：子供にやらせているところもあって、そうすると本が近くなる。大人がやるとかたい感じになるが、お友達が書いたのだと興味がわくと思う。

委員：小学校では、読書週間に図書委員がブックフェスと名付けて、スタンプ2倍デーなどを実施している。

委員：図書館に行かなきゃいけないではなくて、行きたいと思わせる。

委員：二宮西中学校では、図書委員が、クイズをやって3問あたるとしおりがもらえる企画した。また、教員も生徒も全員で20分くらい一斉読書をするという日を設けている。話題をスクリーンに投影して、ブックトークもやっている。

事務局：山西小学校では、寝転んで読めるスペースがある。保護者からの寄付の本を置く場所があって、名前などをノートに書いて借りられる。

会長：捨てる本で、ブックカフェをやってもいい。

(2)令和2年度図書館事業(案)について(報告)

事務局：9時から開館してほしいという声があります。

会長：ニーズやスペースを分ける。

委員：カウンターは9：30からにして、逆に作業を見てもらって、あくまで準備の時間。モーニングサービスで利用者が30分早く使えるということではどうか。

事務局：今のままのスタッフの体制だと、毎日ではできない。

委員：展示が外からも見えるといい。負担がかからずにやれるといい。

委員：本を選ぶというのも図書館の役割。

(3)その他 磐田市施設 ひと・ほんの庭 にこっと の視察に行った委員の感想など

委員：人気のある絵本が何冊も置いてあって、本が新しくきれいだった。

委員：本を生かした支援の場所。

委員：教育の現場で足りない部分を図書館は底上げする、図書館は好きなことに会う場所であり好きなことをのばす場所です。

事務局：にこっとは、近くに中央館もあり、二宮町図書館とは機能的に相違があるが、取り入れられることがプラスしていけたらと思います。

15:35 閉会